



## 英語による授業

北大には、英語で受けられる授業がたくさんあります。

日本語を中心とする学問分野（歴史、文化、社会、制度）や日本研究と他の人文社会系学問との融合カリキュラムなど、授業の内容も豊富で、外国人留学生と触れ合いながら、さまざまなテーマについて学ぶことができます。

これまでの多くの受講生たちは、このプログラムを用いて、英語プレゼンテーションのスキルを身につけたり、講義や討論を通じてリーディング力やリスニング力、スピーキング力をアップさせてきました。外国人留学生との交流も大きなメリットです。

英語による授業は、英語演習と国際交流科目、外国人留学生を対象とする現代日本学プログラム専門科目（GES）の合同開講科目、そして各学部の専門科目など、様々な形で設けられています。Hokkaido サマー・インスティテュートも要チェックです。ぜひチャレンジして、自分の世界を広げましょう！

### 英語で実施する授業（2022年度例（一部））

- Field Bioscience in the Northern Biosphere
- Film Language & Culture
- Immigrants and Society
- Indigenous Peoples and Education
- Intercultural Communication for Living in a Global Society
- Introduction to Japanese Politics
- Introduction to Marine Science
- Introductory History of J-Pop and K-Pop
- Language Science in Manga, Anime and Video-games
- Psychology of Games and Interactive Media
- Rethinking Multiculturalism in Japan
- Science and Society
- Science and Technology in History
- Traveling with the Moomin Family

### ※ Hokkaido サマー・インスティテュート (HSI)

本学教員が世界中の大学や研究機関から招いた世界の第一線で活躍する研究者とともに、夏タームの6月～8月に最先端の授業を英語で行うプログラムです。学部学生対象の科目は国際交流科目として、大学院学生対象の科目は大学院共通授業科目として開講されます。

## 複数言語を学ぶ

英語以外にも様々な言葉が学べます。

### 外国語科目・外国語演習で学べる初習外国語

「ドイツ語」「フランス語」「ロシア語」「スペイン語」「中国語」「韓国語」

### 外国語特別演習で学べる言語（これまでの開講例）

「ラテン語」「ギリシア語」「イタリア語」「ポーランド語」「チェコ語」「ハンガリー語」「トルコ語」「フィンランド語」「オランダ語」「インドネシア語」など

言葉は文化への扉です。外国語の勉強を通して、様々な価値観や考え方を学びましょう。



## オープンコースウェア

オープンコースウェア (OCW) とは、大学の授業をオンラインを通して、世界に公開する仕組みです。

世界中の大学がさまざまな OCW を発信しています。北大も多数の外国語学習や異文化体験のための教材やプログラムが OCW として公開しています。必修授業で与えられるものだけ待っているのではなく、自分から手を伸ばしてみましょう。授業がないときでも、オープンコースウェアの Web サイトにアクセスすれば、オンラインで学べる外国語の授業がそこにはあります。



## 外国語能力試験で腕試し!

語学力をつけたら、外国語能力試験を受けて、留学、大学院進学、就職など様々な目的に役立てることもできます。

語学学習のモチベーションの維持にも有効です。

### 英語

英語の試験には代表的なものに、TOEFL® (TOEFL ITP®および TOEFL iBT®)、TOEIC® (Listening and Reading および Speaking and Writing) があり、それぞれ実施形態によって公開テストと団体等で実施される IP の 2 種類) があります。

学部 1 年次の英語 II では、授業の一部として TOEFL ITP®を受講生全員が受講します (受験料は大学負担)。その後も、TOEFL ITP®および TOEIC® Listening and Reading の IP テストは北大生協 (<https://www.hokudai.seikyoku.ne.jp>) で年に数回、自主運営されていますので、自主的に受験することもできます。

その他、IELTS、実用英語技能検定など多くの試験があります。自分が必要とする資格や用途に合わせて、必要な試験にチャレンジしましょう。

### 初習外国語

初習外国語の検定試験には、ドイツ語技能検定試験、中国語検定試験、実用フランス語技能検定試験、スペイン語技能検定、「ハングル」能力検定試験などがあり、受験のための情報は北大生協のホームページから入手できます。受験準備の外国語演習が開講されている場合もありますので、積極的に活用しましょう。



## 英語で楽しく読書する!~「英語多読」のすすめ

北大在学中に、自分のペースで英語の基礎力、特に読解力と聴解力をこつこつと、でも楽しく鍛えたいと考えているあなたには、「英語多読」がおすすめです。

「英語多読」は SSS 英語多読研究会が提唱する通称「100 万語多読」という学習法の考えに基づいた学習法です。北大では、一部の授業 (英語演習など) で導入実践が行われている他、附属図書館が実施する「多読マラソン」に参加することで、自律的かつ継続的に英語を学習する実践を行うことができます。

「英語多読」では易しい英語を楽しみ、そしてたくさん読みます。図書館の多読コーナーには多くの教材が用意されているので、英語が苦手でも、必ず「すらすら」読める本があり、また様々なジャンルの本があるため、興味を持てる本が必ずあります。「多読で英語への苦手意識を克服できた」「語彙や表現の幅が広がった」「楽しく英語で知識が付けられるのがよい」などの感想も多く寄せられています。

音声が付属する教材も多くありますので、多聴を行うことで聴解力の向上に役立てることもできます。より詳しい始め方は、図書館に置いてある資料などを参考にしてください。



## 映像資料 (北図書館メディアルーム)

外国の文化や社会を学べば、世界を放してみたいくなります。

映像資料で外国を体験しましょう!

北図書館・2F メディアルームには映画などの外国語の映像資料がたくさんあり、視聴もできます。



## 学部・大学院での外国語学習・理系学部編

多くの理系学部で、研究室配属後は留学生と共に学ぶ機会があり、外国語を用いる機会があります。研究室のゼミが英語で行われることもあります。多くの理系学部で高い割合の学生が大学院に進学しますが、大学院での研究活動において外国語、特に英語を用いる機会が多くあります。国際学会での大学院生による発表が盛んに行われ、海外の大学院に留学する学生が多い学部もあります。理系学部からもサマー・インスティテュートに授業を提供し、各学部教員に加え海外から教員を招聘していますが、それらの授業を大学院生のみならず学部生も受講することができます。各学部での外国語を用いた専門分野の教育の特色を以下に挙げます。

### 理学部

- 一部の分野では科学英語講読などで英語による授業を開講しています。
- 学科によっては、海外留学による学修成果を評価し、積極的に海外留学を奨励しています。
- 理学部物理学では、学生の卒業論文発表を英語で行っています。
- 理学院物性物理学専攻の修士課程では、修士論文の発表は英語で行います。
- ISP (英語による理系学部修士一貫プログラム) の科目は全て英語で開講されています。

### 医学部医学科

- 2 年次に「医学英語演習」を開講します。また、課外授業として「医学英語セミナー」を実施しています。
- 6 年次には留学の機会があります。主にアジア圏の大学に北大医学部生を派遣し、北大にも海外から学生を受け入れています。
- 海外学会での大学院生による発表は年間数百件に上り、多くの学生が海外学会へ参加しています。
- 大学院共通授業科目として、英語による 2 科目 (Basic Medical Biology I と Basic Clinical Medicine I) の授業を提供しています。
- 大学院博士課程のコースのうち二つに英語プログラムがあり、大学院博士課程必修の 10 単位を英語化しています。

### 医学部保健学科

- 2~4 年次に「地域調査法」「国際保健学」等の英語関連科目を開講しています。
- 「国際保健学演習」は新渡戸カレッジの、あるいは協定校への短期留学・研修を単位化できる科目です。
- 卒業研究を英語文献レビューによって実施しているコースがあります。
- 英語の授業・ゼミなどを実施しています。

### 歯学部

- 「歯学英語 I」「歯学英語 II」(2 年次) を必修科目として開講しています。
- 大学院では「Academic English」を開講しています。
- スウェーデンのウメオ大学や韓国の全北大学での学生研修を実施しています。
- 大学院における留学生数は増加傾向にあり、研究室によっては演習を英語で行うことがあります。

### 薬学部

- 「薬学英語 I」(2 年次・必修科目) と「薬学英語 II」(3 年次・必修科目) を開講しています。
- 研究室配属後大学院にかけ、研究遂行上問題のない程度まで英語の読解能力を高める機会があります。
- 学部学生も海外での学会に派遣しています。
- 薬学科及び大学院生を主な対象とした短期の交換留学プログラムがあります。

### 工学部

- 2~4 年次に「科学英語演習」「科学技術英語演習」等の英語による授業が、複数のコースで提供されます。
- 環境社会工学科社会基盤学コース及び国土政策学コースでは、専門科目のうち英語による授業として開講しているものが比較的多くあります。
- アカデミックライティング、ディスカッション、英会話等を学ぶことができる英語教育プログラム (単位付/なし) を CEED (工学系教育研究センター) が提供しています。
- 大学院生向けに科学論文の書き方、プレゼンテーションを学べる「実践科学技術英語」(工学院共通科目) を開講しています。
- 大学院では、英語による授業と研究指導が行われる「E<sup>3</sup>プログラム」が開講されています。

### 農学部

- 各研究室で発表、議論、文献講読を取り入れた演習を英語で行い、それを単位化する取り組みを行っています。
- 海外での活動を単位化している科目もあるので、外国語能力を発揮する機会があります。
- 農学院の授業の中には、英語で開講されている授業が多数あります。
- 農学院には英語特別コースがあり、多くの留学生を受け入れています。加えて、英語特別コース以外の留学生も諸外国から多数受け入れています。
- 複数の海外ラーニング・サテライト事業に採択されていますので、海外で英語を使用して学ぶ機会があります。

- 農学部生が多数進学している国際食資源学院は、英語で授業が実施される大学院プログラムです。

### 獣医学部

- 3 年次後期から 6 年次にかけて、英語セミナーを開講しています。
- 海外研修プログラムとして、2~6 年次にカセサート大学、チュラロンコン大学、エディンバラ大学、ザンビア大学、コロラド州立大学等に学生を派遣しています。
- 大学院の課程ではアカデミック・イングリッシュを必修科目として開講しています。
- 大学院の課程においては、獣医学院、国際感染症学院いずれもすべての授業を英語で実施しています。

### 水産学部

- 2 年生を対象に、英語で発表を聞きグループ討論を行う英語授業を開講しています。
- 3 年次には学科ごとに「水産科学英語 I」「水産科学英語 II」(必修) を開講しています。
- 4 年次にラーニング・サテライトの海外研修プロジェクトに参加する機会があります。
- 大学院では「Introduction to Fisheries Science I・II」などの英語による授業を開講しています。
- 博士後期課程では英語論文の執筆、海外での英語による論文発表の機会があります。

## 学部・大学院での外国語学習・文系学部編

文系学部では学問分野によって事情は異なりますが、2 年次以降、英語、そして英語以外の外国語を用いて専門分野を学ぶ機会があります。英語・外国語関連科目も各学部で提供され、英語・外国語を用いて行うゼミにも参加する機会があります。多くの文系学部ではサマー・インスティテュートに授業を提供し、各学部教員に加え海外から教員を招聘していますので、それらの授業を大学院生のみならず学部生も受講することができます。大学院生には国際学会での発表を行う機会も多くあります。各学部での外国語を用いた専門教育の特色を以下に挙げます。



### 文学部

- 2 年次以降に履修できる「英会話・英作文」「英語学概論」等の英語・外国語関連科目 (選択科目) を提供しています。
- 研究室により、英語あるいは他の外国語を用いた教育を取り入れています。
- 研究室を問わず英語論文を読んで議論することが広く行われています。
- 外国人の教員が担当する科目など英語または他の外国語で、あるいは日本語・英語や日本語・他の外国語の併用での授業を開講しています。

### 教育学部

- 国際交流事業 Education for Sustainable Development (ESD) Campus Asia-Pacific Program を実施しています。
- 本プログラムでは、夏に海外提携大学からの学生を北海道大学で受け入れ、各提携大学の学生と教育学部生がバディを組み、お互いの学習や生活をサポートしながら、英語による授業やフィールドワーク、討論を行います。秋には教育学部の参加学生が各提携大学に分散して派遣され、現地プログラムを受講した後、報告会を実施します。
- ESD Campus Asia-Pacific Program に参加した学部生を対象に、ESD Global-Partnership Collaborative-Education Program (1 セメスターの提携大学への派遣・提携大学からの受入) を実施しています。

### 法学部

- 英語その他の外国語につき「専門外国語」(2 年次・講読中心) と「外国語応用演習」(3 年次以上・発信型の能力養成中心) を開講しています。
- 外国人・日本人教員による英語での授業 (知財法や演習) を開講し、各種大会への出場を目指すチャンスがあります。
- 特に国際法や国際政治等の分野では英語を使って学ぶ機会が多くあります。
- 短期留学プログラムがあり、学生をバリ政治学院に派遣しています。
- 大学院で法学・政治学の研究を行う際、専門分野により英語以外の様々な外国語の能力を用いて学ぶ機会があります。

### 経済学部

- 経済学部を訪問した外国人講師・研究者による英語のセミナーを開催しています。
- 韓国の延世大学等、経済学研究院と学術交流協定を結んでいる大学とのジョイント・セミナーを定期的に開催しています。
- 大学院では、英語での論文執筆を指導する科目を提供しています。